



FACEDUO の活用法 普段利用しているスタッフから

FACEDUO が導入された病院・クリニックに勤務されるスタッフの方に、導入のきっかけ、導入時の工夫、利用者の反応についてお話をお伺いしました。



一般財団法人東北精神保健会
青葉病院
長山弘美様



医療法人くすのき会
南飯能病院
永山恵介様



医療法人厚生会
道ノ尾病院
上村真紀様



医療法人カンマ
ころとからだクリニック福井
吉田尚美様

デイケアの活性化を目指して

当病院では、新型コロナウイルスの影響と、若い世代の患者さんが退院後に当院デイケアに通所されないケースが増えてきたことで、利用者数が落ち込んでいました。

就労につながる・発達障害患者さんに対応できるプログラムを取り入れ、魅力あるデイケアへの活性化を目指し、FACEDUOを導入することになりました。

導入後のデイケア平均利用者数の推移は、2023年7月13.5人に対し、2024年4月には17.6人(表1)と増加しています。

青葉病院 長山様



表1) デイケア利用者推移



自閉スペクトラム症(ASD)や注意欠陥多動性障害(ADHD)の患者さんは物事を順序良く説明すること、理解すること、情報を取捨選択することが難しい特性があります。

一方、支援の工夫と継続により社会に踏み出すことができる水準の患者さんが当クリニックには多い為、そのような方に有効なプログラムを実施したいと思い、FACEDUOを導入することになりました。

ころとからだクリニック福井 吉田様

院内で FACEDUO を知ってもらう



FACEDUO の利用を進めるために、院内の医師やスタッフに知ってもらうことが重要です。導入当初は外来に VR ゴーグルを展示する、院内に紹介ポスターを設置するなど、認知度向上に努めました。

その後、利用者さんの変化を医師が実感することで、デイケアに関心を持ち始め、患者さんにデイケア通所を促すきっかけになっています。

また、協力してくれる外部講師が増えるなど、福音が多くありました。結果、多彩なプログラムを提供できる魅力あるデイケアに生まれ変わりつつあると実感しています。

青葉病院 長山様

当院は、SST 初級修了者の在職者は 95 名以上です。対人交流に自信をもって生活を豊かにしてほしいという願いで、SST を患者さんに提供しています。参加者に SST の楽しさを知って貰う、気軽に SST に参加してもらう環境を整えることは、大事だと考えています。

導入当初は、FACEDUO を患者さんに知って貰うために広告を作成し(右図)、院内に掲示しました。

道ノ尾病院 上村様



SST や VR 機器の取り扱いに対する不安を払拭するために、当院の全職員と利用者を対象に体験会を実施しました。

その際、体験会に協力して頂いた利用者の反応が非常に良かったことが、スタッフのやる気に繋がりました。

デイケアプログラムでの FACEDUO 試行・定着の取り組みや、病棟や作業療法室などで新たに SST を始められる土壌づくりは非常に大切だと考えています。

病棟からデイケアへ繋がる



統合失調症の主症状は落ち着いてきたものの、他人へ話しかけるのが苦手な患者さんがいました。看護師に話しかけたいのですが、いつも躊躇してしまう事を病棟の作業療法士がを見つけ、「会話をはじめよう」という FACEDUO コンテンツテーマで個別 SST の実施を提案したところ、戸惑いはあったものの、最後まで意欲的に取り組んでくれました。

SST 実施後は、以前なら躊躇していた、わからない事を看護師にお願いするという場面がみられ、入院中の成功体験を経て、退院後はデイケアへ通所が始まりました。現在は、就労支援プログラムに参加する事が決まりました。

南飯能病院 永山様

スタッフのスキルアップトレーニングとして

SST セッションに FACEDUO を利用することで、SST の経験が乏しいスタッフが感じやすい「SST のハードル」が下がると感じています。これは、FACEDUO は SST セッションを構造化したプログラムとなっているためです。

また、SST セッションを実施しながら、VR 上の支援者が行う「ソクラテス式問答法」や、効果的な「解決方法の提案」、「正のフィードバックといった対人支援」を学ぶことができることも FACEDUO の良さであると考えます。

SST 初級者に限らず、SST の経験がある支援者も、FACEDUO の対面パートでのスキルフルな進行や立ち回りが行いやすく、リーダーの役割が限定される分、育成フィードバックが行いやすい、従来型との使い分けで、SST の提供の幅が広がるなどの利点があると感じます。

南飯能病院 永山様



デイケア利用者の反応

当院で実施したアンケートでは、状況の分かり易さに関する質問に 99%がポジティブの回答、参加したいかの質問にも 98%が参加したい意向を示しました。デイケアプログラムの継続性にも繋がるところかと考えます(表 2)

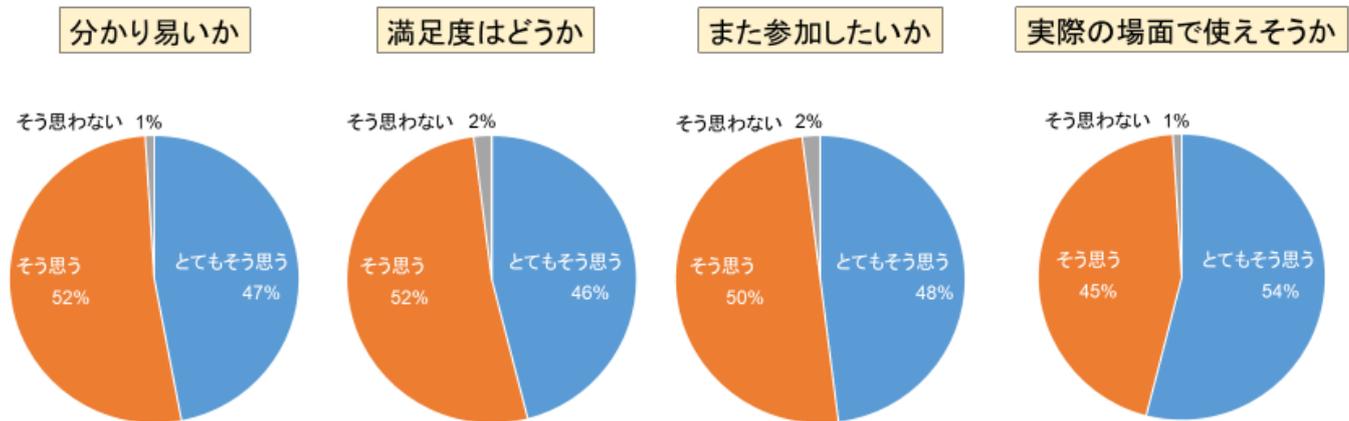


表 2) デイケア利用者対象 FACEDUO 活用後のアンケート(107名)

実際の場面で使えそうか、の質問は利用者自身のスキルの定着化、汎化に重要な評価と言え、99%の利用者が実際の場面で使えそうと回答していることは特筆すべきと考えました。

また、状況のイメージがしやすくなることで、就労経験が少ない利用者でも、仕事場面を想定して考えられる、自分の失敗の体験を振り返って今ならどうするのかについて考えることが出来るようになった、などの意見が得られました。共有する場面があることで、グループで話し合う力が育まれています。

こころとからだクリニック福井 吉田様

FACEDUO 活用術

導入施設から頂いた FACEDUO の活用に関わる質問に、SST と FACEDUO の経験が多い、ひだクリニックお台場 時田陽介様にお答えいただきました。



ひだクリニックお台場
時田陽介様

Q VR-SST の進行方法や工夫点について教えてください

FACEDUO では、利用者の反応を見ながら、映像を巻き戻したり、早送りして SST セッションを進められるのが利点です。進行具合によって、映像が優位な方と文字が優位な方に併せた解説を加えることが工夫点だと思います。

Q ウォーミングアップはどのように実施すると良いですか

グループの特性を活かしたウォーミングアップが出来ると良いと思います。考えるのが苦手なグループであれば、連想を促すようなウォーミングアップを、文字や字面を追うのが苦手であれば、文字や字面を使ったウォーミングアップを考えています。FACEDUO を利用する場合は、最初から映像を使ったウォーミングアップを取り入れていくと良いと考えています。最近では、iPad を使った間違い探しなども取り入れています。

iPad は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です

Q VR のロールプレイにやりづらさを感じています

FACEDUO は映像が流れるので、「一旦止めて巻き戻す」を繰り返して、内容が理解されているのかを確認します。発話がなくても一度通しで体験した後に、映像の最初まで戻して再度練習を促します。映像でヒントがたくさん出てくる工夫発見パートを活かして、しっかりと利用者にロールプレイで発話する内容の理解を促します。



Q 般化の促し方を教えてください

般化は、それぞれの事業所に特化した、例えば B 型事業所や就労移行支援事業所など、その場が作業する場、実践練習がし易い場だと、般化は促しやすいでしょう。デイケアやその他の施設であっても、その場面やコンテンツに近い状態を設定して、宿題として持ち帰って貰うのも大事です。

Q 適切な参加者の構成(疾患別や、実施しやすい人数)について教えてください

当院では、多様な疾患の方に参加して貰っています。目的別やコンテンツの目標と合う対象者に参加を促していく方が良いと思います。例えば、就労意欲のある人であれば仕事編のものを選ぶ、コミュニケーションに課題がある、人との輪を好まない人であれば、人との輪を練習するようなコンテンツに入れるように促すなど、目的やコンテンツの目標に沿ったグループ構成が良いと思います。



詳しくは公式サイトにて

faceduo

検索

販売 Otsuka

開発・製造 JOLLY GOOD!

本システムは医療機器ではありません。本システムはSSTの実施(トレーニング)を目的としたVRを用いたSST支援プログラムです。